

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市長賞

城山中学校 2年 中野 昭佳

「一歩前へ」

ある日父が亡くなった  
突然だった  
悲しかった  
母も悲しんだ  
でも、母は言った  
「悲しんでるだけじゃだめ  
前へ進もう」  
そこから母は進んでる  
お母さんありがとう  
あの言葉が私をすくっています  
苦しくても悲しくても一歩前へ  
母にはいつも世話になってるね  
いつも感謝しています  
言葉には出せない  
だから一歩前へ進んで  
言葉に出して  
「ありがとう」

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市議会議長賞

足久保小学校 4年 石垣 美月

「大すきなお父さん」

わたしのお父さんは  
アニメを見ると  
ないてしまう

わたしのお父さんは  
すきな歌を聞くと  
ないてしまう

わたしのお父さんは  
わたしが出来ないことをすると  
ないてしまう

わたしはそんなすぐなく  
おとうさんが大すき

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市教育委員会教育長賞  
大里西小学校 6年 吉本 果穂

あー。また先生キレたよ。  
あー。出てっちゃった。  
めんどくさいな、学級会。  
聞いている人も少ないし。  
何ですぐキレるんだろう。

あー！先生、泣いてる！  
運動会の組体操本番、先生は  
泣いた。  
一番張り切っていたのも先生。  
練習の時、めっちゃ燃えて  
指導してくれたのも先生だった。

そんな先生が好きな言葉は、  
「全力」  
全力でがん張る大人って、  
いいな。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市校長会会長賞

長田東小学校 4年 坂田 碧

「おかあさんの心の目」

わるいことをした。  
おかあさんはわかっていた。

いやなことがあった。  
おかあさんはわかっていた。

けんかをした。  
おかあさんはわかっていた。

おかあさんは、  
「心の目で見ている。」  
だから安心していられる。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市PTA連絡協議会長賞

由比中学校 2年 伴野 聖弥

「父さんの手」

父さんの手はいそがしい  
平日は仕事で働いて  
休日は僕や弟の遊び相手

父さんの手はすごい  
家族にも  
会社の人にも  
信頼されている

父さんの手はかさかさだ  
毎日のように働いて  
かさついている  
それでも年に数回  
会社から賞状を持って  
帰ってくる

父さんの手は僕の  
あこがれだ

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆市P連母親委員長賞

長田東小学校 6年 岩田 琴々奈

「お母さんの『おかえり』」

いつも待っている  
私の帰りを待っている  
そう思うと、足がどんどん進む  
悲しいこと、楽しいことを早く  
話したくてしかたがない

いつも待っている  
私が話すのを待っている  
うれしそうに聞いてくれていた  
たくさんのお話を話したら  
私の心もやすらいだ

今日もお母さんの  
「おかえり」  
が聞きたくて、足が進む

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

玉川小学校 4年 白鳥 岳人

「ぼくとおばあちゃんのたいへんな朝」

朝ねぼうした。  
バスの時間が近づく。  
おばあちゃんあせる。  
ぼくもあせる。  
おなかがいたいのでトイレに入る。  
おばあちゃんもっとあせる。  
ぼくもあせる。  
おばあちゃんのをあわてる声。  
あせるぼく。  
おばあちゃん走る。  
ぼくも走る。  
「あつかえるがいた。」ぼくとまる。  
おばあちゃんあせる。「はやく！」  
バスが見えた。  
2人であせりはしる。  
今日もギリギリセーフ。  
「いってきます。」  
いつもおばあちゃんありがとう。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

服織西小学校 4年 繁田 尊也

「おじいちゃん」

おじいちゃんで行った  
たけのこほり クワガタとり  
お米や 山いもを作ってくれたり  
買い物に行ってくれたり

やさしいおじいちゃんとの  
たくさんの思い出

おじいちゃんが 入院した  
会いに行くと  
ぼく達を 目で追っていた

もし治ったら  
もう同じ病気にならないように  
ぼくが支えてあげるんだ

今までのおん返し  
絶対にするんだ



平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

大里東小学校 4年 小澤 知也

ぼくは漢字の練習がきらいだ  
お母さんと練習している  
漢字をすぐに忘れる  
まちがえる むずかしい

ぼくはいやになる  
それなのに一ぱい出す  
お母さんはひどい  
朝も夜もやらされた

いよいよ漢字テスト  
合かく  
「ただいま、やったよ。」  
お母さんの顔見て飛びついた

ありがとう お母さん

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水宍原小学校 4年 望月 ティアラ

「オムライス」

お父さん  
夜おそくまで  
おつかれさま。

つかれているのに  
いつも  
おいしいもの  
ありがとう。

お父さんの料理で  
一番好きなのは  
オムライスだよ。

今度、作り方を  
教えてね。  
私がいつか  
お父さんにごちそうするね。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

田町小学校 6年 山田 陽太

「ぼくの父は」

ぼくの父はとても怖い

仕事が思うようにいかない時  
必ず怖い  
時々ぼくに八つ当たりをする

そんな父の仕事は車の修理業  
どんな車も直してしまう  
どこが悪いのか  
とことん追究する  
そして直してしまう  
すごい人だ

そして  
直った車に話しかけている  
「がんばれよ」と

実は優しい

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

西豊田小学校 6年 山本 舜

### 「イメージカラー」

お母さんの色は  
太陽のようなオレンジ色  
私を温かく見守ってくれる色

お父さんの色は  
あわい深緑  
いろんな事を教えてくれる色

お兄ちゃんの色は  
空のようなうすい青  
いつも勉強をがんばっている色

私の色は  
にじのような七色  
みんなの色を少しずつ分けてもらった色

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

長田北小学校 6年 奥村 玲史

### 「最高の料理」

お母さんの料理は  
カラフルだ  
いろあざやかな料理を  
つくってくれる

食べるとぼくは  
パワーが  
わいてくる  
とくに  
カレーが  
最高だ

ぺろりと食べる  
それが  
ぼくからの  
ありがとう

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水飯田東小学校 6年 小川 綺心

小さい時から  
「あーちゃんは宝物だよ。」  
と言われ続けた。  
妹が産まれても言われ続けた。  
悪い事をした時怒られた。  
「なんで宝物なのに怒られるの。」  
と聞いた。  
ママは  
「宝物だからしかるんだよ。」  
と言った。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

末広中学校 2年 海野 未洋

「私は誰かに包まれて」

私は  
お父さんの大きな手に  
ぎゅっと包まれて

私は  
お母さんの温かな手に  
ぎゅっと包まれて

私は  
おばあちゃんのしわしわな手に  
ぎゅっと包まれて

いつも どこかに  
私を  
ぎゅっと包んでくれる人がいる  
ぎゅっとされると安心する

そうして私は守られているのかな

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

長田南中学校 2年 武内 龍之介

「親父」

親父、俺はさびしいよ  
いつも休みは家の中  
ゲームの世界で戦闘中  
でもな、俺も分かっているさ  
とても疲れて帰ってくることに  
昔みたいに元気じゃないこと  
この前二人で映画に行ったな  
俺はとってもうれしかった

いつもやさしく頼れる親父  
俺はそんな親父が大好きだ



平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水第一中学校 2年 古川 和哉

### 「母親は強い」

僕の母親は強い。強いんだ。  
去年の七月、僕の家族から一人  
父親という存在をなくした。絶望だった。  
初めて絶望という言葉を使う出来事だった。  
僕は一、二週間は心が死んでいた。  
しかし、父親の妻である母親は違った。  
心では僕以上に落ち込んでるはずなのに  
表面的にはいつもより顔色が悪いぐらいだった。  
僕は胸が苦しくなった。  
なんで？なんで？疑問だった。  
僕は聞いてみた。  
すると、  
いつもがんばっているお父さんが私にエールを  
送ってきたんだよ。と言った。  
僕は感動した。同時に心がすっきりした。  
母親は強い。強いんだ。  
こんな大人になりたい。そう思う。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水飯田中学校 2年 大塚 樹

### 「母似時々父似」

「宿題した？」 「給食袋だした？」  
毎日母さんは大声で指示する。うるさい  
親なんだ。  
「母さんコンビニ連れてって」 「母さん  
背中かいてよ」 僕も反撃する。  
「靴そろえて脱いだ？ここ荷物  
置かないの。お父さんそっくり。」  
父さんは寝たふりをした。  
今日は僕も考えてあるんだ。  
「塾の宿題は？手紙だしたの？」  
きた。でっかい太い声  
「はい！全部終わった。」  
一瞬静かになったが  
「えーさすが私の息子だー素晴らしい。」  
頭を揺さぶられ抱きつく母さん。逃げる僕。  
だけどこの母さんの声と  
しつこい感じは嫌いじゃあない。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

安西小学校 4年 北村 そら

#### 「家族」

わたしの家族  
毎日やさしい  
お父さん・お母さん  
おばあちゃん  
時々おこられる  
でも、それも愛だと思う  
ひとりっ子は、大変だ  
愛情は、ひとりじめ  
アイスクリームもひとりじめ  
全部ひとりじめだけど  
たまには、私も気をつかう  
わたしの笑顔  
家族がくれたおくりもの  
だから私は  
「行ってきます！」  
「ただいま！」  
だけは大きな声で言う  
生んでもらったお礼だから。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

葵小学校 4年 大場 蒼太

#### 「ぼくのお守り」

「大じょうぶ、蒼太ならできるよ。  
パパとママはいつもおうえんして  
いるよ。」

ようち園の時お母さんが、お守  
りを作ってくれた。

いつも心配なことがあると中に  
メッセージを入れてくれた。  
このお守りで守ってきてもらった。  
四年生の今はメッセージをもらう  
ことはなくなった。

けどランドセルに入れている。  
たまにちらっと見るとお父さん  
お母さんがうかんでくる。がんば  
ってという気持ちがわいてくる。  
いつもそばでぼくをおうえんして  
くれている。  
ありがとう。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

賤機中小学校 4年 繁田 真寛

「天国のおじいちゃんへ」

ぼくはおじいちゃんが大すきでした。

いっしょにつりやたなことりをしたね。

ぼくとおじいちゃんとおばあちゃん  
でドライブに行ったね。

じだいげきやすもうをいっしょに見たね。

この思い出はぼくの宝物です。

今、おじいちゃんは天国でぼくたちを見まもってくれています。

おじいちゃんいつもぼくたちを見まもってくれてありがとう。ぼくがおばあちゃんをささえるから安心してね。そして、これからも空からぼくたちを見まもっていてください。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

大里西小学校 4年 山中 遙斗

#### 「家族のよろこび」

お母さんだけのよろこびややさし  
さがある  
お父さんだけのやさしさやよろこ  
びがある  
おとうとだけの楽しさやよろこび  
がある  
ぼくだけのよろこびや樂のしさが  
ある

家族4人のよろこびをあわせると  
4つのよろこびがある。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

清水庵原小学校 4年 遠藤 彩未

#### 「オムライス」

お母さんはわたしが  
ベソをかいていると  
オムライスを作ってくれる。  
たまごの上にケチャップで  
かかれたスマイルは、いつも  
わたしをはげましてくれる。  
そのオムライスは、  
ちょっぴりうれしい味がした。  
お母さんは  
何も言わなかったけど、  
お母さんの気持ちがつたわった。  
お母さん、オムライス、  
ありがとう。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

井宮北小学校 6年 北楯 香奈

「お父さん」

朝になる、昼になる、夜になる。  
お父さんの料理が、  
テーブルにならぶ。

学校に、ランドセルしょって、  
いってきます。  
お父さんが続いて、  
いってらっしゃい。

学校から、帰ってきて、  
ただいま。  
お父さんが続いて、  
おかえり。

いつも、いつも、お父さん。  
呼んでいるのは、お父さん。  
今までも、これからも、  
となりにいるのは、お父さん。



平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

葵小学校 6年 辻本 光里

#### 「朝のおじさん」

登校中に  
おじさんが立っている  
そこは車がよく通るところ  
おじさんは毎日  
「おはよう、今日も元気でね。」  
と声をかけてくれる  
おじさんの声を聞くと  
元気になる  
今日もがんばろうと思う  
ありがとう  
私たちを危険から守ってくれて  
ありがとう  
いつも元気にしてくれて  
おじさん  
明日もきっと会えるよね

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

千代田東小学校 6年 渡辺 七色

「お父さんのポケット」

仕事から帰ってきた  
お父さんのポケットは  
ふくらんでいる  
けいたい  
たばこ  
汗をふいたタオル  
家族への愛が  
たくさんつまっている

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

服織小学校 6年 久保田 はな

#### 「お母さんの食器洗い」

ガチャガチャ無言でガッチャン  
嫌なことがあったらしい  
雷が落ちないように静かにしていよ  
う

カチャカチャジャージャー  
何を考えているのかな  
楽しい話でもしてみよう

ルンルンカチャカチャ  
鼻歌まじりでカチャカチャカチャ  
いいことがあったみたい  
言えなかった悪事を告白してみよ  
う

食器洗いで分かるお母さんの気持  
ち  
お母さんって大変だ。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

中藁科小学校 6年 剣持 栞南

私がいけないことをすると  
母は精一杯おこる。

私が良いことをすると  
母は精一杯ほめる。

私が悲しむと  
一緒に悲しんでくれる。

私が喜ぶと  
一緒に喜んでくれる。  
「愛される。」って  
こういうことなんだな。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

観山中学校 2年 杉山 真琴

#### 「悪役の母」

ある時、私は母に怒られた。その直後は母のことが嫌いだっただ。嫌わていると思った。でも、それは違った。母は、私を成長させるために怒っていた。そう気付いた時、胸があたたかくなった。

人に注意をするのは、とても辛いことである。自分自身が悪役になるからである。母は、私のために悪役になってくれた。私は母から愛されていると思った。

私は、友に対して悪役にはなれない。他人に対して悪役になれる母は本当にすごいと思う。私はそんな母のように、まわりに影響されず、いやなことでもはっきり言える人になりたい。私は悪役の母を尊敬している。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

竜爪中学校 2年 武内 祐奈

大人の言うことは、根拠がないのに助けられることがある。悔しいけどとても心が楽になる。

「夢は叶う」

と、体育の先生が言う。

「あなたは変われる」

と担任の先生が言う。

「あなたは誰よりも愛されてる」

と母が言う。

根拠がないのに救われるのは、その大人達が信頼できるから。愛があるから。

信頼できる全ての大人達へ。

「ありがとう。」

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

玉川中学校 2年 安本 侑右

「お父さんありがとう」

お父さんいつもありがとう  
朝、早くから仕事に行って  
毎日毎日仕事をして  
夜はいつも遅く帰ってくる  
お父さんいつもありがとう  
いつも僕の話聞いてくれて  
お弁当を作ってくれて  
僕の事をいつも考えてくれて  
いつでも笑顔でいてくれて  
僕はまだまだ半人前で  
困った時はいつも助けられて  
泣いている時はなぐさめてもら  
って  
笑っている時は一緒に笑っても  
らって  
でも、いつかは絶対に  
お父さんのような人になるから  
お父さんいつもありがとう

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

清水第四中学校 2年 松本 花奈

#### 「私のちいさな夢」

朝の優しい光が走る車の中。  
数少ない母との二人きりの時間。  
少し照れくさいけれど学校のこ  
とを話す時間。  
友達とけんかした時、嫌な事が  
あった時も優しくうなずいてくれ  
る大切な時間。  
学校に着くとこの時間が終わっ  
てしまう。  
「いってらっしゃい。」  
笑顔でいつも私の背中を押して  
くれる。  
母はいつも私の背中を押してく  
れるが、いつかは私が母の背中を  
押せる人になりたい。



平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

清水飯田中学校 2年 矢野 千秋

#### 「8年前の予定帳」

ある日探し物をしていたら  
ある物が出てきた

それは8年前の保育園の予定帳

中を見た

自分がケガをした事  
友達とケンカした事  
最近の様子など

私の事についての先生と親との  
やり取りが書かれていた

探していた物は見つからなかつたけど私が愛されているという証を見つける事ができて心がホッコリ！！！！

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

駒形小学校 4年 小林 真子

お母さんにおこられた  
あした学校なのに宿題が完成し  
ていなかったから  
お母さんはだまっててつだって  
くれた  
それからずっとだまっていた  
でもそれはねる前まで  
ねるときお母さんがいつもの顔  
で  
「おやすみ。」  
っていつてくれた  
うれしかった あんなにおこっ  
ていたのに  
あしたの朝ごめんなさいってあ  
やまろう

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

賤機北小学校 4年 村松 武志

##### 「ぼくのおじいちゃん」

「おはよう。顔あらったか。」は朝のあいさつ。ぼくは、「うん。」  
「行ってらっしゃい。がんばってこい。」と見送ってくれる。

雨の日は「乗ってくか。」と聞いてくれるけど、「歩いてくからいいよ。行ってきます。」と出かける。

「ただいまあ。」と帰ると「おかえり。どうだったあ。」とむかえてくれ、勉強のこと、友だちのこと、いっぱい聞いてくれる。

「これ食べるか。」とせんべいやクッキーを食べながら。

「ずっとずっと元気でいてね。」は、ぼくの気持ち。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

中田小学校 4年 滝田 ひかる

##### 「わたしのお母さんカメレオン」

わたしのお母さんカメレオン。  
いろいろな色にすぐかわる。人の前  
では、「にこにこピンク。」家に帰った  
ら、「プンプンレッド。」おさけをのん  
だら、「ヨロヨロブルー。」わたしが百  
点とったら、「ルンルンイエロー。」お  
父さんといたら「ペチャペチャオレ  
ンジ。」コーヒーのんだら、「おちつき  
ブラウン。」りょうりをしたら、「うま  
うまグリーン。」お母さんと、ずっと  
いっしょにいたら、「しあわせレイ  
ンボー。」お母さんありがとう。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水有度第一小学校 4年 佐藤 颯真

「ありがとう」

お母さん、僕を生んでくれて、  
ありがとう。

お母さんがいなかったら、この  
世に僕はいませんでした。

たくさんの友達、楽しい世界、  
本当に、ありがとう。

お母さんのお母さん、お母さん  
を生んでくれてありがとう。

お母さんのお母さんのお母さん  
お母さんのお母さんを生んでくれ  
て、ありがとう。

とまあ、このように、僕はたく  
さんの人にありがとうを言わなけ  
ればなりません。

それだけ、僕はうれしいのです。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水江尻小学校 4年 相川 英介

「つれてくよ」

朝早くからはたらくよ。  
夜おそくまではたらくよ。  
ぼくのためにはたらくよ。

たまの休みにつれてくよ。  
ぼくの行きたい所につれてくよ。  
楽しい楽しい休みだよ。

ぼくが大人になったらね。  
こんどは、ぼくがつれてくよ。  
お母さんの行きたい所につれて  
くよ。

きっと、きっとつれてくよ。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

西奈南小学校 6年 山本 麻央

「麻央」

私の名前は麻央。  
お父さんとお母さんがつけてくれたすてきな名前。

事故にあったお母さんのおなかから、私をとりあげてくれた、命の恩人の先生からもらったすてきな名前。

麻央、いいなあ。そんな意味のある名前、いいなあ。

お父さん、優しく私の名前を呼んでくれてありがとう。

お母さん、愛情をこめて私の名前を呼んでくれてありがとう。

麻衣先生、私に命をくれてありがとう。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

中島小学校 6年 中村 瑛

「いつかプレゼント」

父ちゃん

いつも野球を教えてくれて  
ありがとう

たまに試合を見に来てくれる

見に来てくれる時は  
あまり打てないけど

いつか  
特大のホームランを  
プレゼントしたい



平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

東豊田小学校 6年 深澤 瑠伽

「だいじょうぶ」いつもそう言  
ってがんばるお母さん。本当は、  
ずっと体調が悪いのに休まずに仕  
事に行き、帰ってくると休むひま  
なく家事をする。全部終わると苦  
しそうに横になる。それでも「だ  
いじょうぶ」といつも言う。無理  
をしすぎるお母さん。お願いだか  
ら少し休んでよ。「だいじょうぶ」  
って言わなくていいんだよ。今日  
から洗い物はぼくがやるからね。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

東豊田小学校 6年 井出 綾菜

#### 「愛されてる」

私はある日帰り  
がおそくなった  
始めにおこられる  
かと思ってげんかん  
で足を止めた

そして「ガッチャ」  
ドアを開けた  
さむけが「ぞーっ」と走る  
くつをぬぎ、そしてもう  
一つのドアをあけた。  
「あや」ぎゅっとだきしめ  
られた  
あたたかいぬくもりに包ま  
れたでも最後はおこられた  
でもなんか幸せだった

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水高部東小学校 6年 薩埵 紅輝

##### 「父の強さ」

父は強い  
力が強い  
心も強い  
思いやりもある  
やさしさもある  
なにかも強い

強さにも色々ある  
そのすべての強さをもっている  
ぼくの父は  
世界一強い  
ぼくの自まんの父  
世界最強

ぼくも  
父のような強い人に  
なりたいと思う

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

美和中学校 2年 小澤 遼馬

##### 「地域の母」

「おはよう」という前に

「おはよう」って言う

おばあさん

「おかえり」って家族でもない  
のに言うおばあさん

「おめでとう」って何をしたか  
言ったわけじゃないのにそれを  
知ってて言ってくれる

おばあさん

「おばあさん」は地域の母  
だからおはよう、とかおかえり  
って言ったり、ぼくたちのことを  
知ってる

偉大で尊いおばあさん

ぼくはそんなおばあさんを尊敬  
している。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水第一中学校 2年 西村 拓

##### 「朝の音」

今日は、久しぶりに部活がない。ずっとねていたい気分だが、朝から掃除機の「ゴー」という音や洗濯機の「ガタガタ」などの音がうるさくねていられない。僕は、休日の朝ぐらい静かにしてほしいと思った。そんなことを思いながら自分の部屋からリビングに行った。とてもきれいになっていた。僕は母の気持ちはわからなかったが、休みの日ぐらいきもちよく家にいてほしいと思っていたのかもしれない。そのことを思ったとき、うるさいと思ってしまったことを後悔した。本当は、母に感謝するべきだと思った。

母の愛がつまった家が、一番心地好いと実感した。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水第二中学校 2年 渡邊 修平

母はいつも動いている。そうじ、せんたく、料理などなど。一体いつ休んでるの。母は時々怒る。ものすごく怒る。あんなこわい声は一体どこから出てくるの。母は言った。すべてあなたのためだよ。母はすごく悲しそうな目をしてた。もう、あんな目をさせてなるものか。ぼくは、心にちかった。

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水第六中学校 2年 片瀬 春花

##### 「寝言」

私のお父さんはバスの運転手  
毎日忙しそうだ  
そんなお父さんはよく寝言を言う  
「右、左、出発進行」  
「ありがとうございます」  
夢の中でも仕事をしてるのかな  
時々心配になる  
めったに怒らないお父さんも  
気をつかってくれるお父さんも  
もちろん好きだけど  
たまには怖いお父さんでもいい  
無理しないでほしい  
そのままのお父さんでいてね  
夢の中でも  
私のそばにいても

平成27年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水両河内中学校 2年 石垣 里菜

頑張っているとき  
応援してくれて  
涙が止まらないとき  
静かにそばにいてくれて  
私のことを思ってくれる  
嬉しくて嬉しくて  
私もいつかそんな人に  
なれるのかな  
ううん、なるんだ。